

カゴメ株式会社

カゴメ劇場・りりこわくわくプログラム



従業員参加型、全社を挙げての食育プログラムで
未来を担う子どもたちの成長に貢献

カゴメ株式会社は、創業当時から「自然の恵みを活かして、時代に先がけた深みのある価値を創造し、お客様の健康に貢献する」という企業理念を持ち、この企業理念に基づいて、SDGsの誕生前から、幅広い世代を対象に健康的な食生活を営むための啓発活動を従業員参加型で行っている。例えば、子ども向けの食育活動として、「カゴメ劇場」や「りりこわくわくプログラム」などを無償で行い、これらの活動を通して食べ物への感謝の気持ちを育て、野菜好きになるきっかけを提供している。

「カゴメ劇場」は、歌とダンスで野菜好きになるきっかけを作るカゴメオリジナルのミュージカルで、1972年にはじまり、2019年度までに延べ約364万人が来場している。コロナ禍でも続けられ、2020、2021年度はオンラインで実施された。「りりこわくわくプログラム」は、トマトジュース用のトマト「凛々子(りりこ)」などの苗を全国の小学校や保育園などに無償で提供し、栽培から調理までを体験するプログラムである。全国的な広がりを見せており、2020年度は1,091校(園)が参加し、同年10月に実施した調査では、「プログラム実施前後で比較すると野菜好きな児童が増えたと感じる」という実施校(園)が6割以上という結果が出ている。また、2019年度にプログラムを実施した県内の小学校(2年生)では、給食を残す子どもが減り、家庭でも好き嫌いせずに野菜を食べようとしている様子が見られた。「本プログラムを通じて子どもたちの野菜を愛おしむ心が育っていった」と多くの教育現場から報告されている。

これからも、子どもに限らず様々な年代の方に野菜の魅力を伝え、健康的に豊かな生活を送っていただくことができるよう、活動を続けていきたいと考えている。

企業担当者の想い

子どもたちの「食育」については、多くの社員と力を合わせ、想いを込めてプログラムを作っています。従業員参加型の、全社を挙げての取組という意識が強く、活動の一つ一つにはそんな社員の心意気が表れています。長く活動を続けたり、コロナ禍で活動を行ったりすることの苦労は多いですが、実際に子どもたちの喜ぶ顔を見たり、美味しく野菜を食べてもらえたりすることはとても嬉しいです。子どもたちの笑顔は、私たちの仕事の励みになります。

